

作成日 2006/10/10

改訂日 2018/07/17

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 重炭酸アンモニウム
 製品コード 1110501168001
 整理番号 kisoka1152-22
 供給者の会社名称 日産化学株式会社
 住所 東京都中央区日本橋2-5-1 日本橋高島屋三井ビルディング
 担当部門 化学品事業部 基礎化学品営業部
 電話番号 03-4463-8140
 FAX番号 03-4463-8138
 緊急連絡電話番号 03-4463-8140

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康有害性

急性毒性（経口） 区分4

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語

警告

危険有害性情報

H302 飲み込むと有害

注意書き

安全対策

取扱い後はよく手を洗うこと。(P264)

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)

応急措置

飲み込んだ場合、気分が悪いときは、医師に連絡すること。(P301+P312)

口をすすぐこと。(P330)

廃棄

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

単一製品

化学名又は一般名

炭酸水素アンモニウム

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法番号	安衛法番号	
炭酸水素アンモニウム	100%	NH ₄ HCO ₃	(1)-141	既存	1066-33-7

分類に寄与する不純物及び安 情報なし

定化添加物

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪いときは、医師の診断をうけること。

皮膚に付着した場合

皮膚を速やかに洗浄すること。外観に変化が見られた場合は、必要に応じて医師の診断をうけること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。 眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。気分が悪い時は、医師の診断をうけること。

5. 火災時の措置

消火剤	散水、水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素
使ってはならない消火剤	情報なし
特有の危険有害性	食品添加物にも使用されていることから、有害性は低いと考えられるが、分解すると有害なアンモニアガス、二酸化炭素を発生する。
特有の消火方法	高温になると分解して、アンモニア・二酸化炭素を発生するので、風上から消火活動を行う。
消火を行う者の保護	消火作業の際は、保護衣を着用し、眼、鼻、口を覆う保護具（ホースマスク等）を着用するのが望ましい。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	作業に際しては適切な防護具を着用し、飛散しない方法で回収する。適切な防護衣を着けていないときは破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。
環境に対する注意事項	直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	河川等に排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。
二次災害の防止策	危険でなければ漏れを止める。 大量の漏洩物の除去や廃棄処理の場合は専門家の指示による。 可燃物（木、紙、油等）は漏洩物から隔離する。排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	防塵眼鏡、ゴム手袋、ゴム長靴、アンモニア用防毒マスク等の保護具を着用する。
安全取扱注意事項	粉じん、ヒュームの吸入を避けること。 飲み込みを避けること。 取扱後は、手、顔等を良く洗い、うがいをする。
衛生対策	この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。
保管	
安全な保管条件	容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。 容器は直射日光や火気を避け、冷暗所で保管すること。
安全な容器包装材料	包装、容器の規制はないが破損しないものに入れる。

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
炭酸水素アンモニウム	未設定	未設定	

設備対策	管理濃度・許容濃度以下に保つために換気装置を設置する。
保護具	
呼吸器の保護具	防毒マスクなど適切な保護具を着用すること。
手の保護具	保護手袋を着用すること。
眼の保護具	眼の保護具を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	適切な保護衣を着用すること。 保護長靴

9. 物理的及び化学的性質

外観	
物理的状态	固体
形状	固体（結晶）
色	白色不透明
臭い	アンモニア臭
臭いのしきい(閾)値	データなし
pH	情報なし

沸点、初留点及び沸騰範囲	情報なし
引火点	引火せず
燃焼又は爆発範囲	
下限	データなし
上限	データなし
n-オクタノール／水分配係数	情報なし
自然発火温度	情報なし
動粘性率	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	常温では比較的安定であるが、熱に対して不安定である。
化学的安定性	適切な保管及び取扱いにおいては安定しているが、熱的に不安定であり、35～60℃で速やかに昇華分解し、アンモニア、二酸化炭素、水を生ずる。吸湿性があり、水溶液はアルカリ性を示す。
危険有害反応可能性	熱的に不安定であり、35～60℃で速やかに昇華分解し、アンモニア、二酸化炭素、水を生ずる。
避けるべき条件	日光、熱
危険有害な分解生成物	アンモニア、二酸化炭素

11. 有害性情報

急性毒性	情報なし
皮膚感作性	データなし

12. 環境影響情報

生態毒性	情報なし
オゾン層への有害性	データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方自治体はその処理を行なっている場合はそこに委託して処理する。
汚染容器及び包装	関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

14. 輸送上の注意

国際規制	
海上規制情報	特になし
UN No.	該当しない
Marine Pollutant	Not applicable
Transport in bulk	Not applicable
according to MARPOL	
73/78, Annex II, and the	
IBC code	
航空規制情報	特になし
UN No.	該当しない
国内規制	
陸上規制	該当しない。
海上規制情報	特になし
国連番号	該当しない
MARPOL 73/78 附属書II 及	非該当
びIBC コードによるばら積	
み輸送される液体物質	
航空規制情報	特になし
国連番号	該当しない

15. 適用法令

食品衛生法	食品添加物公定書に記載
水質汚濁防止法	有害物質（法第2条、施行令2条、排水基準を定める省令第1条）
外国為替及び外国貿易法	輸出貿易管理令別表第1の16の項

16. その他の情報

参考文献

16112の化学商品、化学工業日報(2012)

その他

この情報は新しい知見による改訂されることがありますのでご了承ください。

ここに記載された情報は、当社で調査できる範囲の情報であり、情報の正確さは保証するものではありません。

化学品には予見できない有害性がありうるため取り扱いには細心の注意を払ってください。